

ゼロの建築現場は、いつも公開。

ゼロの建築は、お客様の厳しいチェックのもとにつくられています。

ゼロは3年前より「公開」を
建築コンセプトに掲げています。

業界を揺るがす衝撃。

企業の説明責任が問われています。

11月に勃発した「構造計算偽造問題」が建築業界を揺るがしています。小さな建築事務所に端を発したこの事件は、関わった確認検査機関や施工会社、建築主それぞれの問題点を次々に露呈するだけでなく、多くのお客様方を悲嘆の淵に追い込みました。そして更に、偽造とは無関係の多くの良質な建築関係者をも疑惑の視線にさらし、その余波はまだまだ広がる様子を呈しています。「なぜ、このようなことが起きたのか。今回の一連の事件は、建築に関わる我々自身も大きな衝撃を受けています。」

そもそも、現代は「隠す」ということが大変神経質になっている社会です。この傾向は、専門家といわれる人々の業務慣習に便乗した「失敗の隠蔽」が招いた不信の結果に他なりません。今まで専門家を過信していた反動がユーザーに瀰漫し、世の中には何も信用できないというユーザーが増え続けています。過敏とも思える専門家不信の社会が創出された中、更に拍車をかける事件が再び起こってしまいました。

本来、建築工事や技術というものは部外者にはわかりにくいものですが、専門家が自らの良心に従い、手抜きのない技術的に洗練された工事を行い、それをユーザーが信頼し委託するという健全な社会環境であれば、今回のような問題は起こらなかったでしょう。このような環境下で、家づくりの会社に必要ないスキームは、説明責任を果たせる建築プロセスづくりではないでしょうか。

ゼロの建築コンセプトは「公開」です。

ご自身の目でゼロの建築をチェックしてください。

今回のような問題が起こる可能性があるからこそ、ゼロは厳しい視線を持つユーザーに対し、「公開」というコンセプトで建築の過程を明確にする施策を早くから採り入れています。建築業者自らが適切な情報を開示し、ユーザーの皆様幅広く建築知識を持つていただくこそが、これから家を建てようとする方々や購入を予定されている方、建築後や購入後に不安を感じておられる方によりよい暮らしを実現していただくための必要不可欠な条件であると考えます。お客様ご自身が、自分が暮らす住まいをチェックできる目を持ち、その目に対して常に真摯な態度で応えることのできる建築業者を選んでいただくこと、それが「賢い暮らし」の第一歩となります。

ゼロの「公開」の前では建築工程は明白であり、関係者であれば誰もが建築詳細を確認できます。また、建築内容を理解していただくための様々なツールを用意し、どのようなチェックがなされても納得のいく家づくりを目指しています。ゼロが掲げる「公開」をお確かめいただき、どうぞ安心してゼロをお選びください。

**ゼロの公開 その1
建築現場とその担当者を「公開」しています。**

ゼロは、建築現場を常に公開しています。お客様は、いつでもゼロの建築現場に訪れていただき、現場の様子や工事の内容をご確認いただくことができます。また、各現場に担当現場監督と大工の写真を名前入りでポスター表示し、現場に問題があれば、お客様や近隣の皆様からダイレクトにご指摘をいただける体制も整えてあります。

※建築現場公開は、お客様の安全と安心に支障がない場合に限ります。

**ゼロの公開 その2
建築工程と標準詳細図を「公開」しています。**

ゼロは、ホームページ上に建築工程を写真入りで掲載・解説しています。また、ゼロが建築した住宅をお客様にご購入いただく際、その契約時にゼロの建築の標準詳細を定めた「標準ディテール図面集」をお渡ししております(一部オリジナル工法部分を除きます)。完成途上をこれらと見比べながら、建物の健全性をご確認ください。更にお引渡し時には、建築工程の要所要所を撮影した写真もお渡しいたします。

**ゼロの公開 その3
クレームとアンケートを「公開」しています。**

ゼロでは、お客様からご連絡いただいたクレームの記録を、何の調整も変更もすることなく、そのままホームページ上に公開しております。また、住宅ご購入から3カ月後には、満足度をお伺いするお客様アンケートも送付し、その集計結果についてもホームページ上に公開しております。これらのデータ公開は、お客様が正當にお住まいや住宅会社を選ぶための重要な要素であると考えております。



そして品質主義宣言。

雨漏りの軒連続記録は「公開」があったからこそ。

ゼロは、様々な場面で「雨漏り雨水の浸入」軒記録をご紹介しています。この記録について、非常に多くの方が「当たり前」だと思っておられるでしょう。しかしながら、住宅を建築する側にとっては、雨漏りの問題は終わりのない戦いのようなもの。多くの建築業者がこの問題に頭を抱え、多くのお客様が被害に合われているのが実情です。

「公開」を掲げた当初のゼロも、その内容に非常に恥ずかしい思いをしたことは事実です。だからこそ、お客様がいつ何時どこで「質」になるうとも恥ずかしい現場づくり、品質づくりに努力しています。高度な技術を必要とし、施工上のトラブルが多いとされる「密集地仕様(まちなかタイプ)」の木造一戸建住宅の建築において、雨漏り0軒2年連続記録2005年12月15日現在513軒を達成したのは、「公開」があったからなのです。

ゼロは、お客様の信頼を大切に育てております。そして、今後も「公開」をコンセプトに、胸を張って品質主義を宣言いたします。

※雨漏り雨水の浸入の軒記録について
雨漏りの軒連続記録は本格的に開始した2003年11月1日より開始しております。軒記録については、2004年4月1日より5年以内の記録を掲載しております。